



第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師
通 訳：尹笑英姉

前 奏			
頌 栄	5 4 0	会 衆	
主の祈り		会 衆	
プレイズ	「心に感謝を持ちながら」 「主こそ我が神」	会 衆	
聖書朗読	ヨハネ 5：1-18 (新約聖書 p171)	司 会	
祈 禱		司 会	
賛 美	新生 5 8 6	会 衆	
メッセージ	「よくなりたいか？」	牧 師	
祈 禱		牧 師	
賛 美	新生 1 3 1	会 衆	
献金祈禱		司 会	
報 告		司 会	
頌 栄	新生 6 7 2b	牧 師	
祝 禱		牧 師	



第二礼拝次第

メッセージ・司会：渡真利彦文牧師

聖書：サムエル記上 17：15-16
(旧約聖書 p455)

メッセージ：「神に心を向ける」

プレイズ：「いのちの光」 「主は陶器師」

賛美：新生 5 8 6 新生 4 9 7



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

司会・奏楽：学生会

聖 書：マタイ 16：13-28

メッセージ：「自分の十字架を背負って」

<巻頭言>

牧師 郭永東

“知れば知るほど見れる”という言葉があります。これは同じものであっても、人によって理解する程度と深さは異なるという意味です。例えば、レオナルドダビンチの作品「モナリザ」を考えてみてください。モナリザの特徴は、リザ夫人の眉毛がないことと謎のようなほほ笑みです。晴れやかな笑顔でもなく、無表情でもない独特な感じがします。しかし、不思議なことはこの絵を見る人によって評価が違ふとことです。ダビンチの絵をよく知っている人から初めて見る人まで今もルーブル美術館はこの絵を見に来る人でいっぱいです。絵の構図、新しいスタイルの油絵技法、背景より人物が高く配置されている特徴などを理解しながら見る人は嘆声を上げます。しかし、ある人は普通の絵と変わらないと考えるかもしれません。同じ絵を見てこのように違う理解、解釈、感情を持つことができます。神様も同じです。神様は唯一の方です。しかし、各々が考える神様は違います。果てしなく愛する方、戒める方、正しい方、妬む方、善なる方、裁く方など、それぞれ違います。神様は唯一の方なのに、どうしてこんなに違うのでしょうか。それは知るほど見れるからです。神様はご自身を聖書を通して表してくださいました。ですから、神様をよく理解するためには、聖書をよく理解しなければなりません。まるで、絵画の専門家が“モナリザ”の構図、背景、作家について理解しながら作品を理解するように、聖書を預かっているクリスチャンは聖書を誰よりもよく知らなければならぬのではないのでしょうか。神様の名前しか知らない知人ではなく、誰よりもよく知っている親友になることを神様も願っておられると思います。